

藤波こども園

令和7年度 園長だより No.3

令和7年6月3日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

たてわり集団で育つ やさしい心

藤波こども園では3～5歳児は年齢別の保育とたてわり集団の混合保育を織り交ぜて活動しています。たてわり集団での活動を通して「周りを思いやるやさしい気持ち」が子ども同士で育っている場面を見ることが多く、子どもたちの可能性を改めて感じさせていただいています。

『花組さんから どうぞ』

花まつりのおさがり(お菓子)



玉林寺で花まつりのお参りをした日の午後のことです。青柳仏教会からお菓子を供えていただき、園児全員分をいただきました。

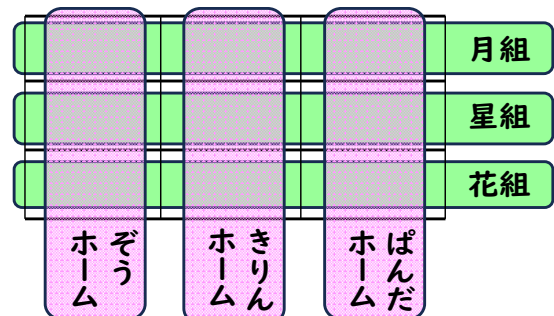
そのお菓子、写真のように“2種類”をリクエストしたのは園の保育者でした。「全員、同じ物にしておいた方が揉めずに分けられるのでは？」と思いがちなところですが、保育者から「それぞれの好みがある中で、きっと子どもたちは考えて解決に向かってくれるはず」と予測して“2種類”を用意していただきました。

そしてホームで1人ずつに分けると、保育者から「緑とオレンジの箱があるけど、どうして分けようか？」と問いかけると月組・星組の子どもたちから「花組さんからもらえばいい」というア

提案がありました。それで保育者から「なぜ花組さんからもらってもらうの？」と尋ねたところ「月組と星組は花まつりに行ったけれど、花組さんは留守番をしていたから」「自分が花組だったとき、そのときの月組さんからいっぱいやさしくしてもらったから」という反応があり、花組の子どもたちから分けることができました。

ところが、最後に月組の子どもたちがいたかどうかとしたとき残りは緑ばかり。1人の子が「オレンジ色が欲しかった」と言い、なかなか妥協できませんでした。その様子を見ていた星組の1人の子が「私、どちらでもいいよ。変えてあげる。」と言ってリュックからオレンジ色の箱を出し、交換していました。

子どもたちがたてわり活動の中で育っている様子を感じた日でした。



たてわりのホームと年齢別のクラス

「せんせい、この本読んで！」

～子どもたちは絵本大好き～

部屋で遊んでいる子どもたちから絵本の読み聞かせを頼まれることがよくあります。朝の会



や帰りの会、各クラスで集まったときなどに絵本や紙芝居の読み聞かせをしています

が、読んでもらっている間、子どもたちはかなり集中して聞き、絵本の世界に入り込んでいるようです。

園では毎週金曜日に絵本の貸し出しをしています。幼児の子どもたちは



絵本コーナーに行ってたくさんの本の中から読みたい（お家の方に読んでもらいたい）本を探して借りて帰ります。乳児には保育者が何冊か



を選び、保育室に並べた中から子どもたちが借りて帰ります。

絵本の読み聞

かせには多くのメリットがあると言われていいます。「豊かな感性や想像力などが身につく」「集中力を高められる」「語彙力や言語能力を高められる」などはもちろんのこと、親子の関わりが増えて信頼を深めるコミュニケーションとなるほか、子どもにとっては親の愛情を感じられる幸せなひとときとなることでしょう。

「大きなサツマイモにな～れ」

～さくらんぼ広場と地域の方～

地域の方た

ち（小島和枝さん、酒井良枝さん、志村信子さん、中



村悦子さん、湊田香さん、湊田数枝さん、山本房栄さん、山本義雄さん）にお世話になり、さくらんぼ広場に来園の親子のみなさんでサツマイモの苗を植えました。苗の挿し方や土の押さえ方、ペットボトルを使って水やりなど、地域の方に教えていただきながら小さな子どもたちも一生懸命でした。一通り、植え終わった



後はテントの中でおやつタイム。外でみんなと一緒に食べるおやつがお

いしそうでした。秋にはきっとたくさんのサツマイモがとれるはず。今年も焼きいもをみんなでいただく予定です。

【PTA講演会、保育参観】

6月13日（金）

◎講演 13:00～14:30

講師：佛教大学教授

原 清治 先生

「幼児期の今、大切なこと」

～これからの社会を

生きていくために～

◎参観 講演後～15:00頃



※「参加予定」を提出いただいておりますが、予定が変わった方は遠慮なくお申し出ください。